

関西学院大学

教務機構ライティングセンター NEWS LETTER



特集

ライティングセンター
5周年記念シンポジウム
開催の様子＜前編＞

第1部「関西学院大学ライティング
センターの歩み」より

- ・開会挨拶
- ・ライティングセンター設立の経緯
- ・開講科目に関する取り組み
- ・対面指導に関する取り組み

特集

ライティングセンター 5周年記念シンポジウム 開催の様子<前編>

関西学院大学教務機構ライティングセンターの開設 5 周年を記念して、2025 年 2 月 27 日（木）にシンポジウムを開催しました。本シンポジウムではライティングセンターで行われてきた多様な取り組みとその成果を振り返り、ライティングセンターの意義と今後の可能性を探りました。今号では、第 1 部「関西学院大学ライティングセンターの歩み」より、開会挨拶、ライティングセンターの設立の経緯、開講科目に関する取り組み、対面指導に関する取り組みの内容をダイジェストでご紹介します。

開会挨拶

登壇者：中野 康人 ライティングセンター長 / 社会学部教授



ライティングセンターは 2020 年 4 月に開設されました。私はライティングセンターの設立当初から関わらせていただいております。2019 年度末から 2020 年度にかけてセンターを立ち上げようというとき、ちょうど新型コロナウイルス感染症の拡大が起こり、大学業界全体が混乱の渦に巻き込まれました。そもそも新しいセンターをつくるだけでも大変な作業なのに、そのタイミングでオンライン授業に全面移行しなくてはならなくなり、本当に初めてのことばかりでした。それでも乗り越えてくださった先生方やスタッフの皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。それでは、本日のシンポジウムをお楽しみいただければ幸いです。

ライティングセンター設立の経緯



登壇者：時任 隼平
ライティングセンター委員
高等教育推進センター教授



○学院としての組織的な問題意識

当初は、「ライティング教育が必要だ」という意識は持っていないながらも、全学開講科目では約 2 万 5000 人いる学生全員に行き届かないことや、各学部の新入生のゼミでの取り組みは内容の過不足やばらつきがあり、整理する必要があるといったことが問題意識としてあったそうです。また学部と全学開講科目間での内容の重複等も起きていましたので、学部ではディシプリンに特化したライティング指導、全学開講科目では汎用的な論理的思考力を身に着けるためのライティング指導が必要であると認識していました。構想時に行ったこととして、既存の授業の位置づけの整理を行い、それに伴って全学開講科目内容の検討を行いました。既存の授業内容と理論的枠組み、先行事例との整合性を確認しながら科目を組み立てて、作り上げていきました。

○構想段階にて配慮したこと

構想を進めるうえで気を付けていたのは、既存の授業との位置づけの整理を丁寧に行うことです。過度に重複せずに、また補完関係であることの説明をしっかりと行いました。高等教育の潮流に照らして、学術的背景に関する説明も合わせて行うことで、ライティング科目や支援の必要性について説得力を持たせて構想を作っていました。くわえて、よりセンター運営が適切に進められる人材の確保にも注力する必要がありました。具体的には授業の企画、研修、研究、広報など多岐にわたる業務をこなせる人材があげられます。マルチにかつ適切に業務を遂行できる人材のリクルートは非常に重要だと思います。

開講科目に関する取り組み



登壇者：福山 佑樹
ライティングセンター
教育特別任期制教授

○開講科目の概要

ライティングセンターの開講科目としては、レポートの課題に不安を抱えている学部生を対象とした「スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）」、比較的長い学術的文章の執筆能力を重点的に訓練したい学部生を対象とした「スタディスキルセミナー（レポート執筆の応用演習）」、大学院開講科目である「論文執筆のためのアカデミックライティング」の3つが現在開講されています。「スタディスキルセミナー（レポート執筆の応用演習）」では、半期を通じて一定水準を満たした5,000字以上のレポートを1本書き上げることで、章立てのある文章を設計する方法について学びます。また大学院生向け科目である「論文執筆のためのアカデミックライティング」では異なる専門を持つ受講生同士でお互いの文章に相互評価・相互支援をする「ピアレビュー」を多く取り入れているのが特徴です。



○スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）の特徴

この授業の目標は、学部におけるレポート執筆に必要な基礎的知識・技術の習得です。この授業は全学部の方が受講可能ですので、多くの学問領域で共通するような学術的文章の作法について扱っています。受講生には、「この科目は授業内容を頭で理解するのはもちろん、自分のレポートで実践できて初めて目標達成となる」ことを伝えています。授業の進め方としては、講義を宿題として、授業時間では「文章を執筆」するなどの演習を中心とした「反転授業」を導入しています。その他では、「授業内外での豊富な教員フィードバック」、「初回授業と最終回授業での文章の比較や振り返り」などを導入していることが特徴です。

対面指導に関する取り組み



登壇者：福山 佑樹
ライティングセンター
教育特別任期制教授

○ライティングセンターと対面指導

ライティングセンターは、レポートや論文執筆で困っている学部生が、専門的なトレーニングを受けた教育指導員（大学院生・研究員など）から個別に支援を受けられる場所として、2020年に開室し、2021年度より対面指導を開始いたしました。ライティングセンターの対面指導は1セッション45分間で、教育指導員からマンツーマンでじっくり支援を受けることが出来ます。対面指導は、授業のレポート課題や卒業論文、研究計画書などの日本語で執筆された学術的文章を対象とし、レポートを書く前の段階から書いている途中、完成までどの段階でも相談可能としています。

○対面指導を支える教育指導員

2024年度秋学期現在、教育指導員は本学所属の大学院生（博士前期課程8名・博士後期課程3名）と研究員など（2名）の計13名で構成されています。教育指導員になるためには、一次審査（書類審査）と二次審査（面接審査）を受けていただき、適性があると判断された方を採用しています。教育指導員の研修として、採用時には、採用時集合研修、観察研修、ロールプレイ研修、実地研修など手厚く研修を行っています。1、2ヶ月ほどの研修を経て、実地研修において1人でセッションが担当できると判定された指導員のみが独り立ちしてセッションを担当することになります。採用後にも研修は定期的に行っており、採用年次に関わらず、月一回の研修や学期ごとの振り返り研修などを行っています。



オンデマンド教材「レポートサポートシリーズ」配信中！

学部生がレポートを書く際に、ポイントごとに必要な情報へアクセスできる動画です。
レポート課題を出された際の説明などに、ぜひこちらの動画シリーズもご活用ください。

レポートサポートシリーズ
YouTube 再生リストはこちら

KSC 図書メディア館と協働で「レポート執筆のワンポイントセミナー」を実施

KSC 図書メディア館と協働で三田キャンパス所属学部生に向けた「レポート執筆のワンポイントセミナー」を実施しました。このセミナーではレポート執筆における全体像や構成の役割などの紹介のほか、西宮上ヶ原キャンパスにあるライティングセンターを神戸三田キャンパスの学部生にも認知してもらい、オンラインでもライティングセンターを利用できることを周知しました。

【実施時期】 2025 年 5 月 27 日（火） 【実施形態と回数】 対面での講義形式 / 4 回実施

【セミナー内容】 <ライティングセンター>

- ・ レポート執筆の基礎（レポートの全体像と構成要素、序論の役割、ワークなど）
- ・ ライティングセンターの利用方法および開講科目紹介

<KSC 図書メディア館>

- ・ レポート執筆に役立つデータベース紹介
- ・ 図書メディア館のレファレンスサービスの紹介

授業への「出前講義」承ります！

「初年次の演習科目で、レポートをトピックとして取り上げた」、「3 年次・4 年次の研究演習科目で卒業論文でのアカデミックライティングの指導どうしよう」とご検討中の先生方へ、ライティングセンターより学部生向けアカデミックライティングに関する出前講義や動画教材をご提供します。

内容：レポート執筆の基礎に関する講座（20 分程度）

＋ライティングセンターの紹介（10 分程度）

＋お試しセッション（15 分程度）※要相談

方法：①授業にセンタースタッフが出向いての実施

②センター作成のオンデマンド教材を利用しての実施

※出前講義をご希望の方は、下記項目を記載の上、

ページ下部のメールアドレスにてご連絡・ご相談ください。

（1）対象授業名と対象学生の人数や属性

（2）実施を希望される授業日時の候補

< 出前講義ご利用の声 >

早川有紀先生（法学部「基本演習 24」担当）

学生からはたいへんわかりやすかったと好評でした。教員側から見ても、ライティングセンターの役割や活動についてより理解できましたし、学生がつまづきやすい点について気づきを得ることができました。

風間朋子先生（人間福祉学部「研究演習 I」担当）

卒業研究に取りかかるための準備として、3 回生を対象に出前講義をお願いしました。学生からも論文作成の心構えができたと好評でした。「もっと卒業論文の目次（アウトライン）のつくり方を知りたくなった」との声がありましたので、ライティングセンターの利用を促しました。

ライティング対面指導の利用方法

1. 公式 LINE/kwic/web から予約フォームに移動できます。
 2. 予約フォームで希望の時間と形態を選びます。
（1 セッション 45 分で直接来室かオンラインでの実施）
 3. 予約完了後、相談内容や見てほしいレポートなどを送信します。
- ※予約枠に空きがある場合は、予約なしでの飛び込み利用も可能です。

ライティングセンター
利用予約ページ



レポート課題を出されたタイミングや学部生からレポートの書き方に関する質問が出てきた場合にはぜひ対面指導の利用を促してください！

お問い合わせ <平日 9:00 — 17:00>

教務機構ライティングセンター（西宮上ヶ原キャンパス大学図書館 B1F）

TEL: 0798-54-7459 MAIL: writingcenter@kwansei.ac.jp

関西学院大学教務機構
ライティングセンター
マスコットキャラクター
ライトくん

